

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		移動図書館・拠点配本実施事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会	課長名 高木 敏明
	施策	20	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名 末永 舞
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供		所属班	図書館班	(内線) 2512
法令根拠					図書館法第3条(図書館奉仕) 合志市立図書館条例第5条		
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 6 コスト削減優先度評価結果 9
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 8 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
図書館を利用できない遠隔地利用者や図書館に来ることが困難な利用者(特に園児や小学生、乳幼児の保護者、高齢者等)が図書館サービスを受用できるような事業を実施する。

【業務の流れ】
移動図書館車を運行し、巡回先にて蔵書の貸出・返却を行う。
拠点配本先に定期的に100~200冊の蔵書を配本し、利用者に読んでもらう。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ○移動図書館車 旧西合志町内の巡回先地点を月に1回巡回し、蔵書の貸出・返却を行った。 ○拠点配本 旧合志町の8箇所の配本先へ月1回と2回の配本を行った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 移動図書館車及び拠点配本の利用の増加と効率的な運用のため見直しを実施し、ステーションの追加及び廃止を行う。 また、今まで巡回していなかった旧合志地区の小学校への巡回を行う。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 移動図書館等利用者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 箇所 → ア 巡回・配本拠点 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 図書館遠隔地の利用者にも、図書館サービスを利用してもらう	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 → ア 移動図書館等利用者 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 学習やスポーツへの参加する機会がある	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 件 → ア 移動図書館等貸出件数 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % → ア 学習に親しむ機会があると思う市民の割合 % イ スポーツに親しむ機会があると思う市民の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	1,256							
	(A) 事業費計	千円	1,256	0	0	0	0	0	0	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3		
延べ業務時間	時間	300	300	300	300	300	300	300		
(B)人件費計	千円	1,191	1,194	1,194	1,194	1,194	1,194	1,194		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,447	1,194	1,194	1,194	1,194	1,194	1,194		
活動指標	箇所	38	38	38	38	38	38	38	目 標 合 計 値 画 22 年 度	
対象指標	人	4289	3828	4000	4287	4300	4300	4300		
成果指標	件	26236	25764	26000	28031	28000	28000	28000		
上位成果指標	%	45.1	50.8	45.5	47.3	45.8	46	44		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
○移動図書館 図書館遠隔地の利用者も図書館サービスが受けられるように、平成9年2月頃より開始した。
○拠点配本 図書館遠隔地の利用者も図書館サービスが受けられるように、平成12年7月頃より開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
移動図書館については、ほとんど利用がない巡回先と利用のある巡回先に分かれている。合併前は自治体内の遠隔地の大半をカバーしていたが、合併後は巡回していない旧合志町の地域を合わせると自治体内の遠隔地の半分しかカバーしていない形になっている。ただし後者に関しては、拠点配本により、多くをカバーする形になっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
移動図書館に関しては、巡回が非常に助かるという意見が寄せられている。拠点配本についても指定された場所に、常時本を置いているので、利用したいときにいつでも利用できるの助かるという意見が寄せられている。

事務事業名	移動図書館・拠点配本実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ まさに学習やスポーツへの参加機会の提供といえるため
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 図書館遠隔地におり、なかなか図書館へ足を運べない市民へも、図書館サービスを提供することは、偏りなく市民へ同じサービスを提供する平等性に合っているから。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ この業務は、図書館遠隔地利用者や図書華南へ来ることが困難な利用者へサービスを提供することが第一であるため
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 異動とy相間に関して、巡回先の見直しと巡回スケジュールの再設定により向上が期待出来る
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 多くの図書館遠隔地の利用者が図書館サービスを利用できなくなる
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似の目的(意図・対象)をもつ事業が他にない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 拠点配本車・移動図書館の燃料費等であるため削減することは難しい
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 移動図書館も拠点配本もほとんど非常勤職員業務を担っているため
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市民全員に提供できるものであるため

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…移動図書館に関して、巡回先の見直しと巡回スケジュールの再設定により向上に期待出来る。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	3	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)